

「かながわシニア起業家ビジネスグランプリ 2018」審査について

審査項目	審査の視点
1 新規性・革新性	同業種の経営における改善点などを理解した上で、効果的なサービス・商品や事業モデルとなっている。（類似業種の経営について分析を行った上で、これまでにない新たなサービス・商品や事業モデルとなっている）
2 成長性・将来性・収益性	マーケットとして市場性があり、かつ事業を成長・拡大させていく考えや事業計画を持っており、今後の収益（の拡大）が期待できる。
3 経営者としての資質	経営者としての必要な経験・スキルなどを有している。 経営者としての素質や事業を継続して取り組んでいけるだけの意志や粘り強さがある（2次審査のみ）
4 社会的・地域的な課題解決	自社利益にとどまらず、社会的・地域的な課題解決につながる起業となっている。
5 実現・継続可能性	事業計画又は実際の経営が現実的かつ堅実である。
6 経験や知識、ノウハウを活かした起業か	事業内容に、これまでの体験や、前職での業務経験、人脈が活かされている。 経験がなくとも、知識やノウハウを習得している。
7 豊かなセカンドライフにつながる起業か	起業の動機や将来のビジョンが明確である。 年齢に捉われず、自己の人生を豊かにしたり、経済の活性化に貢献する起業となっている。